

dialogue

Taiwa town assembly official report

Volume

165

6月定例会
平成22年8月1日

たいわ 町議会 だより

コミュニティセンター

峰

私たち上手でしょ (峰区民祭)

町税をコンビニで ほか 一般質問者16名

5~21ページ

なじよになったのあの提言は

22ページ

大好き！大和町 (大和中・宮床中)

24ページ

大勢の方が傍聴に



全議案可決

6月定例会では、このような案件が審議されました

条 例	結果	賛:反
町職員の勤務時間、休暇条例の一部改正	可決	全員賛成
町職員の育児休業等条例の一部改正	可決	全員賛成
国民健康保険条例の一部改正	可決	15:1

補正予算	結果	賛:反
一般会計	可決	全員賛成
落合財産区特別会計	可決	全員賛成

条 例	結果	賛:反
専決処分（税条例の一部改正）	承認	全員賛成
専決処分（都市計画税条例の一部改正）	承認	全員賛成
専決処分（国民健康保険税の一部改正）	承認	全員賛成
専決処分（一般会計補正予算）	承認	全員賛成
専決処分（国民健康保険事業特別会計補正予算）	承認	全員賛成
専決処分（介護保険事業特別会計補正予算）	承認	全員賛成
専決処分（下水道事業特別会計補正予算）	承認	全員賛成
損害賠償の額を定め、和解（公用車事故）	可決	全員賛成
情報通信基盤整備工事契約	可決	全員賛成
人権擁護委員	適任	全員賛成
請願書（町道認定）	採択	全員賛成

6月定例会

（会期 6月17日～22日）

内 容

条例の改正や補正予算、人事案件などを慎重に審議しました。
一般質問は16人の議員が、町の対応や考えを問いただしました。

新しい議場で初めての議会



条例改正

- 国民健康保険法の改正により、条項の改正を行いました
- ・ 国民健康保険税の基礎課税額の限度額を47万円↓50万円
- ・ 後期高齢者支援金等課税額の限度額を12万円↓13万円
- ・ 個人市町村民税の基礎控除額33万円を明記
- ・ 倒産、解雇、雇い止め等の離職者に対する軽減制度を創設し、該当する方の所得を100分の30に減額して課税する。

- たばこ税が上がります（10月1日から）
- ・ 町と国・県のたばこ税を合せると、1本当たり3.5円の引き上げとなり、価格は1本5円程度上がります。

○ 扶養控除

- ・ 16歳未満の扶養親族にかかわる扶養控除33万円が廃止。
- ・ 16歳以上19歳未満の特定扶養親族にかかわる扶養控除の上乗せ部分（12万円）を廃止、扶養控除の額を33万円とします。

- 根古・若畑簡易水道浄水場施設整備にかかわる認可変更申請のため改正を行いました

- ・ 根古・若畑簡易水道事業 給水人口203人↓180人
1日最大給水量70^m↓63^m

- 職員の育児支援を推進するために改正を行いました
- ・ 非常勤職員や臨時職員も育児休業を取れるようになりました。

人事に同意

人権擁護委員 菊地

敬氏

（64歳）

落合報恩寺

【審議結果】 適任 賛成16 反対0

一般会計補正 1739万円増額

主な事業

- ・農地地図情報データ整備業務委託 1032万円
- ・道路補修調査業務委託 175万円
- ・町営住宅工事費 210万円

強制執行

議員 町営住宅の家賃滞納で入居者には立ち退いてもらうが、滞納した家賃の回収方法は都市建設課長 財産はほとんどないので、今後の収入で支払ってもらう。

議員 滞納者が転居した場合の対応は。都市建設課長 情報を把握する必要があるので、行き先をたずね、債権回収に当たる。

もう帰るの？
議員 外国語指導助手は、新学期が始まって間もないのに帰国するかどうか。
教育総務課長 日本の学期始めは4月からだ



が、外国の学期は9月から始まる。今回帰る方も、9月に来て8月に帰るという1年のサイクルを2年経過した。新たに帰る方も2学期からで、そういった制度の中で事業を行っている。



超高速インターネット 接続環境整備

議員 町内全域で超高速ブロードバンド環境が整うが、行政サービスに役立てる考えはあるのか。

総務まちづくり課長 吉田地区、難波地区の整備で、町内全域の光ファイバー網が整う。すぐにこれを利用してのサービスまでは整っていない。

【工事契約者】

東日本電信電話株式会社
宮城支店(仙台市青葉区)

【契約額】

1億341万4500円

請願書 (1件)

地区内道路の町道認定に関する請願書

【提出者】

宮床向原地区 区長 佐竹勇雄氏

【紹介議員】

浅野正之議員、秋山富雄議員

上田早夫議員

主旨 向原地区の道路の一部は未整備であり、地域住民の生活環境に支障をきたしている。当該道路を町道に認定していただき、また、舗装整備もしていただくよう請願する。

審議経過 2月23日に提出された本請願は、3月定例議会で産業建設常任委員会に付託され、調査・審議が行われました。その結果を6月定例議会で委員会から報告され、採決の結果、採択となりました。

【審議結果】

採択 賛成16 反対0

陳情書 (1件)

安心・安全な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と

国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書

【提出者】

国土交通省管理職ユニオン東北支部

執行委員長 堀井 寿氏



現地調査をする委員

一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

町政を問う

16名の議員が、町長と教育長に質問



1. 堀籠日出子 議員
町税や公共料金を「コンビニ納付」で収納率アップを
他 1 件 (6 ページ)



9. 馬場久雄 議員
これからの大和町に臨んで
(14 ページ)



2. 秋山富雄 議員
県道大衡仙台線の開通見通しは
他 1 件 (7 ページ)



10. 高平聡雄 議員
バスターミナル整備事業
他 1 件 (15 ページ)



3. 鶴橋浩之 議員
委託業務の債務負担行為について
他 2 件 (8 ページ)



11. 大友勝衛 議員
家畜伝染病「口蹄疫」対策は万全か 他 1 件 (16 ページ)



4. 大崎勝治 議員
西川河川敷の雑木撤去について
他 2 件 (9 ページ)



12. 藤巻博史 議員
災害時要援護者対策・福祉避難所
他 1 件 (17 ページ)



5. 中山和広 議員
進出企業の従業員の定住推進
対策は 他 1 件 (10 ページ)



13. 中川久男 議員
吉岡西部地区開発の見通しは
他 1 件 (18 ページ)



6. 伊藤勝 議員
住宅用火災警報器の普及状況
について 他 2 件 (11 ページ)



14. 桜井辰太郎 議員
本格的なコミュニティー自治
の体系化を (19 ページ)



7. 堀籠英雄 議員
お年寄りの知恵袋事業について
他 2 件 (12 ページ)



15. 浅野正之 議員
教育環境問題について
(20 ページ)



8. 松川利充 議員
公共建築物（土木構造物）の点
検保守等について (13 ページ)



16. 平渡高志 議員
大和町消防団と陸上自衛隊と
の合同訓練を計画しては
他 1 件 (21 ページ)



ほり ぐめ ひこ 議員
堀 籠 日出子

コンビニでも支払えるように

町長 将来を見据え考える

議員 町税は予算額の約42%を占めており、一年間の事業を進めるには町税のスムーズな収納が重要である。近年、共働き世帯・勤務体制の複雑化により役場の窓口や指定金融機関で期限まで納められないことが多く、滞納者増加の要因になっている。収納率向上と納税者の利便性を図ることからコンビニで支払えるようにしては。

町長 導入するには、納付書様式や電算システムの変更等に多額の経費がかかる。また、手数料が1件当たり55円から60円と高額である。当面は口座振替の普及拡大を図る。

議員 納税者の約45%は窓口での直接納付である。町民へのサービスを考えるべきではないか。

町長 「コンビニ収納」は納税者の利便性の向上につながると感じることから、将来を見据えながら考えていく。

性教育の現状は

教育長 計画の見直しを図る

議員 近年、情報が氾濫しており、性知識のないまま興味本位で行動を起こす青少年が多く社会問題にもなっている。子宮頸がんは性交渉によりウイルスの感染で発症し、20代での死亡率が高くなっている。



24時間営業で便利だな～

性教育の時間に性交渉と子宮頸がんの因果関係を取り入れ、指導すべきではないか。また、正確な情報を知らため、専門の講師を迎え保護者と教師も勉強すべきではないか。

教育長 エイズや子宮頸がんなど性交渉により、さまざまな感染症に感染することの教育が必要である。年間指導計画を見直しながら、今後、検討する。

県道大衡仙台線の

開通見通しは

町長 宮床工区は28年度までに完成予定

議員 県道大衡仙台線は、なかなか計画通りに進んでいない。仙台北部工業団地にはトヨタ自動車や関連企業の進出、リサーチパークは東京エレクトロンのほか、スズデン、ソマール社が着工をしている。県道大衡仙台線は、従業員の通勤などで主要な道路である。今後の工事計画は。

町長 小野工区は2車線、片側歩道整備が行われ、平成24年度完成を目指し進めている。宮床工区は平成24～28年度までの計画で、宮床工区以北は、現時点では未定となっている。



開通が待ちどおしい



議員 秋山 富雄

「伊達家住宅」が雨漏り

町長 簡易補修で対応する



小まめな手入れが必要

議員

本町の観光名所の宮床歴史の村「宝蔵・武家屋敷・原阿佐緒記念館」にある、伊達家住宅が風雨で屋根の棟が壊れ、雨漏りがし

ている。早急な改修工事が必要ではないか。

町長 近年の気候や環境の変化による強風、あるいは

鳥の害。いずれの原因かは

不明だが、西側上部の棟のかや材の脱落や屋根北側の劣化が進んでいる。今後、簡易の補修を行う。

大型化する長期継続契約

町長 執行契約には十分留意している



議員 之 ひろ 橋 うづら 鶉

議員 近年、委託業務で複数年契約による債務負担行為の大型予算計上が多いが、その理由と執行上の留意点を問う。

町長 債務負担行為は、単年度契約の例外的なものとして、後年度支出に当る部分まで一括契約をするため、予算の一部として議決を受け設定している。発注者である町側、契約業者側、双方の利点も考慮している。

議員 委託業務契約で、スクールバス運行に下請負がある。委託業務で下請の場合、基準や要綱の定めはあるのか。

町長 委託業務の下請負は原則禁じているが、「業務の一部は発注者の承諾を得て再委託できる」と規定している。今後、検討する。



移設予定の町民憲章碑

町民憲章碑をどうする
町長 新庁舎に移設

議員 旧庁舎前に昭和63年に大和エコーライオンズクラブから寄贈された町民憲章碑がある。新庁舎前に移設すべきではないか。

町長 町民憲章碑は、寄贈者からの了解を得ており、新庁舎の敷地入口付近に移設を行う。

「明ヶ沢川」の氾濫対策は

町長 防衛局・県と協議する

議員 準用河川明ヶ沢川は途中、八志田堰用水路に合流し、その下流で分岐して吉田川に注ぐが、下流部は断面狭少と未装工のため、増水時には周辺域の災害発生要因となっている。

以前、県王城寺原補償工事事務所の八志田堰用水改修工事の実施設計に働きか

けを行うとのことだったがその結果は。

また、改修工事に含まれないとすれば、明ヶ沢川、八志田用水と演習場の因果関係も含め、防衛予算等で下流整備を急ぐべきではないか。

町長 県王城寺原補償工事事務所に要望を重ねてきた

が八志田用水路改修事業への取り込みは困難とのことだった。

河川整備は、町単独事業での実施は困難なので、補助金か交付金での事業化をする以外はないので、引き続き防衛省東北防衛局や県と協議をしていく。

河川敷の雑木撤去は

町長 県に要望する

議員 西川の河川敷の雑木が大きくなり、洪水の原因にもなっている。県に撤去を要望すべきでは。

町長 西川は、鶴巣鳥屋地区を通り大平地区で吉田川に合流する県管理の一級河川である。

現状では、大崎地区から大平地区にかけて雑木が生茂っている状況で、仙台土木事務所雑木の除去の要望を行っている。

昨年は、鳥屋地区から「西川と小西川の合流点で雑木が生茂り、河川愛護では対応できない。また、県

道の視界も悪く危険なので、県に除去してもらいたい」との要望があり、仙台土木事務所との意見交換会で状況を伝え、除去をしていただいた。



おお じ 議員
さき かつ 治
大 崎 勝

地区の町道整備を 町長 整備計画を検討する

議員 町道大平大崎線の改良工事の計画は、どのようなになっているのか。

町長 平成3年に道路改良を行うに当たり用地買収に着手した。しかし、関係者全員から協力が得られず、計画どおりの工事ができない状況で現在に至っている。その後、この区間の中央部



拡幅の要望が出ている大平下地区

で新たな県道整備が行われ、部分的に拡幅整備されているが、その先は旧来のままとなっている。当時、用地買収に協力をいただいた部分もあるので、これを活用した整備を検討していく。

議員 大平中地区から「きこり橋」までの区間が未舗装になっている。学童の通

仮称「下草大橋」

町長 財政状況踏まえ 総合的に検討

議員 竹林川を渡る橋の設置を要望してから何年も経過しているが、今後の計画を示せ。

町長 これまで、重吉橋架け替えや小鶴沢線の改良など、国交省事業で大型事業を行ってきた。橋の新設は、数億円規模の大型事業となることから、総合的に検討していく。

学路でもあり、区長連名の要請書も出ている。早急に対応すべきではないか。

町長 幹線道路等から重点的に進めているが、当該町道の整備が具体化しないまま現在に至っている。今後、町道整備の計画に組み入れて検討する。

定住化の推進をはかれ

町長 住環境のすばらしさを発信



なかにやま かずひろ 議員

議員 県内29市町村で人口が減少している。本町では数年微増状況にある。

セントラル自動車の従業員の9割が宮城県に移り住むと意志表示をしており、今回の大規模な人口移動は、本町にとって人口フレームを達成する見通しがつく絶好の機会である。

定住化推進対策をどのように考えているのか。

町長 本年は、本町にとって人口増加を図る絶好の機会であり、本町の「子育て支援策」「保育所の待機児童解消に向けての取り組み」のほか、教育環境、医療環境、商工会との連携、交通アクセス環境の推進に努める。本町の住環境のすばらしさ等「大和町PRデー」

一般質問

を実施し、「くろかわ住宅情報バンク」「区画整理組合」などと情報を共有しながら、多くの方々に本町に住んでいただけるよう努力する。

都市河川を清流に

町長 県に要望をする

議員 洞堀川は、吉岡南第二土地区画整理組合関係者で愛護会を組織し、土手は定期的に除草しているが、河床には雑草木が生茂り家庭ゴミ等も飛散している。



ホテルが飛び交う川に

住民が自然と親しみ、川遊びの思い出をつくる場として、コイやフナ、メダカが泳ぎ、ホテルが飛び交う川にするため、早急に河床の雑木除去に取り組んでは

どうか。
町長 洞堀川は県管理の河川であるので、雑木や土砂の撤去を県に強く要望する。町民の憩いの場としてはその後、検討していく。

命を守る火災警報器

町長 婦人防火クラブを中心に普及

議員 消防庁は、2011年6月までに設置が義務化された「住宅用火災警報器」の普及率を発表した。全国の普及率は52%で、条例で既に義務化された自治体でも、60・8%にとどまる結果になった。本町の普及推進状況や財政措置は。

町長 普及率は57・9%である。今後も、広報紙で普及推進を図っていく。

議員 住宅防火にかかわる総合的な啓発と普及促進の取り組みは。

町長 総合的な防災活動の中で、住宅火災予防の広報



伊藤 まさる 議員

活動や町の地域防災訓練、各地区での自主防災訓練時に啓発普及を行う。

災害時の誘導方法は

町長 広報班・医療班・救護班が当たる

議員 消防庁から、地方自治体の危機管理調査結果が発表された。高齢者、障害者、乳幼児、自ら避難することが困難な人の避難方法と本町の取り組みは。

町長 避難勧告・避難指示は、災害で人命の保護が必



訓練で私も消せるよ

要と認める場合、町長の判断で行われる。伝達方法は、直接口頭または拡声器、広報車、防災行政無線、電話、サイレンによる。

議員 避難住民の誘導にかかわる関係職員の配置は。

くり課)を中心に本部の指示に当たり、災害時の要保護者の安否確認、避難所への移動は医療班、救護班(保健福祉課)が当たる。

議員 介護ポイント制度を導入しては。

町長 高齢者自身が社会参加活動を通じた地域貢献や、自らの介護予防につながる活動は大変重要なので、今後の検討課題とする。

安心できる老後を

町長 開設事業所がない

議員 安心して老後を暮らせる「小規模多機能型居宅介護事業」を取り入れては。

町長 この事業は、今までの生活環境のまま「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態が一体となり行えるのが特徴だ。開設事業所がなかなか出てこない現状である。

お年寄りの知恵袋を

教育長 徹底した保存に努める



ほりごめ ひで お 堀 籠 英 雄 議員

議員 高齢者が長い生活の中で生み出し、受け継いできたことわざや方言、暮らしの知恵、伝説などまだ発掘されていないものが沢山ある。広く町民に働きかけ収集を行い、それらを一つの書籍にまとめ後世に残す考えはないか。

教育長 お年寄りの持っている多くの知恵や経験は非常に貴重で、保存継承しながら次世代に伝えることは大変重要である。一冊の書籍の編さんは、費用の面や人的なものがあるので、これまでであるものの保存に努めていく。

一般質問



山に入る時は必ずカードに記入を

船形山への入山届出箱の増設を

町長 冬は駐在所を考えている

議員 船形山は登山や山菜採りなどで多くの人が入山している。コース等を間違っているの遭難も時々発生している。本町には、旗坂と桑沼の2ヶ所に入山届出書箱が設置されているが、届出書を出す人は700名弱

(約20%)と少ない。届出箱の増設を行い、さらには看板・横断幕で山岳遭難の防止を進めては。
町長 船形山・升沢周辺には、年間4万人余りの方が訪れている。本年3月には、船形登山で3名が遭難して

学生の模擬議会を

教育長 むずかしい

議員 全国には学生模擬議会を開催しているところがある。宮城大学や黒川高校の学生を新議場に招き、学生議会を開催してはどうか。若者の新鮮な意見やアイデアは行政運営の参考となると思うが。

教育長 新議場での披露をかねた中学生議会を計画している。
議員 今後、高校生などの模擬議会を開催する考えは。
教育長 宮城県教育委員会とのかねあいが難しい。

おり、入山届けを出すことの大切さを再認識した。入山届箱の増設は、冬期間中は吉田駐在所を考えている。また、入山届を出す啓蒙を行い看板での表示を大和警察署と検討していく。

公共建築物の保守点検は

町長 計画的に補修していく

議員 本町の公共建築物の法定点検及び自主点検の実施状況と結果は。

町長 3年に一度の法定点検が義務付けられている施設は、まほろばホール、保育所、総合体育館、町営アパート等である。町営アパート以外の建物は指摘事項はない。蔵下住宅屋上防水層の劣化は昨年に対応、下町住宅の屋上水槽鉄骨の錆は本年度に対応する。

しく危険性が高まっている。本町の橋の現状は。

町長 本町が管理する橋は141橋である。ほとんどがコンクリート製で、老朽化がみられる。県の講習会に職員を派遣し知識、技能の習得を図り、昨年度から自主点検を行っている。調査の結果、緊急に架け替えが必要な橋はないが、欄干等の腐食が見られるので計画的に補修していく。

議員 新庁舎は省エネ仕様で建設されたが、今後のコスト低減策は。

町長 南外壁面がコンクリート劣化防止の打ち放し撥水仕上げで、酸性雨等の対策を講じ、北側は50角磁気質タイル貼りで凍結防止や対候性に配慮。深夜電力使用の蓄熱水方式、節電のため執務室の電灯を一列毎の調整スイッチ設定、不要な時の電灯が切れるセンサー付にしている。環境に配慮して維持管理コストの削減と建物の長寿命化、低コスト対策に努める。



質問者

議員 松 川 利 充

一般質問



腐食が進む欄干

のぞ これからの大和町に臨んで

町長 中核都市の大和をめざす



お 久 馬 場 議員
お 久 馬 場 議員

議員 住民サービスの拠点となる新庁舎は、「住民の交流と町政参加の場」を基本理念に掲げている。

これを契機とし、新たな時代へ向けた町長の町づくりの考えは。

町長 新庁舎完成を機に、一層気を引き締めて町民の福祉の向上に努めていく。産業の集積などにより更なる発展が見込まれる中、「町民の皆さんが誇りと愛着を持って住み続けられる町にしていきたい」との思いを強くしている。

今後の町づくりの基本は、新たに住民自治のシンボルとなった新庁舎を拠点に、「みやぎの中核都市・大和」の実現に向け、協働と人づ

一般質問

くりをキーワードに、実施計画で提案している各施策を一つ一つ確実に実現していくことだと思っている。

議員 旧庁舎と跡地の活用策の検討結果はいつ頃になるのか。

また、住民の交流の場として、進出企業のPR館や地場産品の紹介・販売をする物産館の考えはないか。

町長 旧役場庁舎は全て解体し、跡地は「教育ゾーン」、中町通り・吉岡八幡神社を含んだ「にぎわいゾーン」として位置づけているので、大和町保育所の移転新築用地と一部をにぎわい支援広場として活用する。

また、現大和町保育所敷地は、スクールバス乗降待機所や吉岡児童館と共に子育て支援機能とした活用等を予定している。



間もなく解体する旧庁舎

練り直せ交通ターミナル

町長 総合的に進める

議員 新庁舎北側に隣接して整備する交通ターミナルは、21年度の国交省所管の補助活用による事業用地取得であることに伴い、都市建設課の所管事務として進めているがそれでよいのだろうか。3月議会では、町の政策判断を最終決定する政策会議（三役、総務町づくり課、財政課、産業振興課、都市整備課、保健福祉課各課長）に利用予測のデータも示されないなど十分な議論がないままでの事業推進では無責任と言わざるを得ない。総務まちづく

り課を主幹として企画を練り直し、町の新中心地にふさわしい活用策に仕上げるべきでないか。

町長 交通ターミナルの整備は、宮城の中核都市を目指す本町にとって、重要な役割を果たすものである。具体的には、多様な交通機関の結節点を整備することにより新たな賑わい拠点を創出し、また、エコ通勤による環境配慮の町づくりを推進するものである。今後の施設活用は関係課や交通関係機関と調整し総合的に進める。

り課を主幹として企画を練り直し、町の新中心地にふさわしい活用策に仕上げるべきでないか。

具体的には、多様な交通機関の結節点を整備することにより新たな賑わい拠点を創出し、また、エコ通勤による環境配慮の町づくりを推進するものである。今後の施設活用は関係課や交通関係機関と調整し総合的に進める。



議員 高 平 とし お 雄

一般質問

期日前投票所の増設を

町長 もみじヶ丘に設置する

議員 国は投票の秘密や選挙の公正の確保など、一定の条件を満たす場合には、市町村の選挙管理委員会は、投票所の場所を柔軟に決めることができるとの見解を示している。期日前投票所

を増設し、投票の利便性向上を図れ。

町長 期日前投票所は、今回の参議院選挙から役場1階に選挙期間を通じ開設すると共に、1日限定で、もみじヶ丘保育所に開設する

と選挙管理委員会から報告を受けた。

今後は、もみじヶ丘に期日前投票所を増設する予定である。



庁舎1階に設置された期日前投票所

こうていえき 「口蹄疫」対策は万全か

町長 消毒用石灰等無償配布



議員 衛 勝 友 大
おおともかつえ

議員 宮崎県で発生した家畜伝染病「口蹄疫」は4月20日に発生が確認され、疑似患者を合せると15万頭超の病害が発生した。本町での対策は万全か。

町長 5月31日から6月10日にかけて、町内畜産農家34戸全てに消毒槽と消石灰を配布し予防の一助として支援をした。JAや家畜保健衛生所、東北農政局との連携を図りながら今後の対策・対応を図っていく。

議員 子牛価格の高騰も心配されるが大丈夫か。

町長 子牛価格は、みやぎ総合家畜市場で5月の平均取引価格が30万円台であったが、6月初旬で約42万円となり、値上がり傾向

一般質問

にある。一刻も早く感染経路が解明され、まん延や再発防止に向けた万全の措置が取られ、畜産環境が改善されるよう関係機関に働きかけをしていく。

介護老人福祉施設の充実を

町長 介護保険事業計画で検討

議員 介護を必要とする老人を抱える家庭では、対応に大変苦慮している。介護老人福祉施設の計画的整備を早期実現すべきでないか。

町長 施設介護サービスの現状では、平成22年4月での施設利用者数は老人福祉



すくすく育てよ

施設（特養老人ホーム）で66名、老人保健施設で80名である。また、町内の方で介護老人福祉施設への待機

者は、平成22年1月調査時点で、142名となっている。介護給付費の増大、保険料の増額という負担にも

繋がることから、サービスと負担の両面から検討するとともに、県の「みやぎ高齢者元氣プラン」や平成24年度からの第5期介護保険事業計画に併せ検討していく。

ワクチン接種に助成を

町長 国の動向を見極める

議員 子宮頸がんの予防策として、09年12月から始まったワクチン接種。公的医療保険の対象外の任意接種で、5万円前後の費用がかかり、助成制度を導入する自治体が増えている。予防できるがんである子宮頸がんワクチン接種への助成を行い、推進を図ってはどうか。

予防には、ワクチンだけでなく検診も不可欠なことから、ワクチンと検診の両面から見る必要がある。公費助成は、現在、県町村会も政府に要望をし、国でも検討しているのでその動向を見極めたい。

町長 県内では、大衡村が22年度から中学生を対象に無料接種に取り組むが、それ以外の市町での取り組みは聞いていない。



議員 史 博 ひろ まき 藤 ふじ

要援護者の避難所は

町長 ひだまりの丘で対応する

一口メモ

福祉避難所とは？

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、一般的な避難所では生活に支障をきたす人たちのために、「何らかの特別な配慮」がされた避難所です。



福祉避難所となるひだまりの丘

議員 障害者や介護の必要がある高齢者など災害時要援護者の福祉避難所の確保はされているのか。サポートは万全か。

町長 災害時要支援者は、障害者自立支援受給者11人、更生医療受給者14人（人工透析利用者）、介護

保険受給者848人、在宅酸素療法者16人、65歳以上一人世帯514世帯、同一人世帯447世帯である。

福祉避難所の指定はしていないが、緊急時にはひだまりの丘で対応を図る。一時避難の後はショートステイを実施している施設等で

対応をしていく。

自宅からひだまりの丘への避難は、要援護者の家族、自主防災組織、民生委員、町職員が当たることになるので、具体的な避難支援プランの策定や七ツ森希望の家や和風園等との協定を図る。

吉岡西部の見通しは

町長 企業立地の動向により対応



なか 川 ひさ お 議員
中 川 久 男

議員 吉岡西部地区の開発は、第四次総合計画でどのように進めようと考えているのか。また、地権者への説明は。

町長 県が今年3月にまとめた「仙塩広域都市計画区域の整備方針」では、本町を含めた市町村で現在実施中の市街地整備を除き、新たな開発は制限されている。しかし、企業立地の動向により弾力的な対応が求められるとしており、吉岡西部もその地区になっている。

地権者への説明は、毎年開催している代表役員との懇談会で説明する。

議員 土保田街道線は、生活道路で軽自動車もすれ違いが困難な状況だ。交通安全のためにも山ノ神禪興寺

一般質問

線と同様に拡幅をしては。

町長 西部地区は、総合計画の位置付けや今後の自動車関連企業の進出動向もある。もう少し見極め、地域の方々のご意見を伺いながら対応していく。

金谷中地区の農業振興策は

町長 市街地を目指している

議員 金谷中の水田地帯中央に町道がある。現状は農道だが、作業用の軽トラックも通行できない状態だ。開発もままならない中で、農業振興策をどのように考

えるのか。耕作の基幹となる道路だけでも拡幅できないものか。

町長 当該地区は総合計画で市街地を目指す地域としているが、具体的な見通し

がはっきりしていない。地区内の町道管理は、田の耕作等に支障のないよう本年度に、町道南金谷線の部分的修繕工事を予定している。



町道？農道？南金谷線

コミュニティ自治の推進を

町長 協働のまちづくりを進める

議員

日本では様々な社会問題が噴出している。これは、町民の公共性を土台とした仕組み（コミュニティ自治）が薄いことが関係しているのではないかと。そして、地域社会の制度や習慣をよりよく改め築き、町民目線が行政推進に反映できる、コミュニティ自治を推進すべきだ。

町長 少子高齢化の進行や人口減少、商業・農業等の停滞が問題化している。

そのためには、町内に59ある連絡区組織の充実を図

る。町民運動会や敬老会の開催、ごみステーションの設置や道路、側溝清掃などの環境美化活動、交通安全・防犯活動など様々な活動を通じ、住民みなさんの親睦を図っている。今後も、連絡区単位のコミュニティ推進を町としてサポートしていく。

これからのまちづくりは、町民や事業者、各種団体の方々などの「協働のまちづくり」が不可欠といえる。そのためには、様々な場で活動の核となる人材の育成、

担い手の確保が重要となってくる。このため町では、地域活性化事業、地域づくり推進事業などを通じ協働のまちづくりと人材育成を図り、町民参加のまちづくりを進めていく。



議員 辰太郎 井 桜



みんなの参加で住みよい地域づくり

教育と塾の関係は

教育長 教育委員会は関与しない



あさのまさゆき 議員
浅野正之 議員

議員 塾の行政上の位置づけをどう認識しているのか。子どもの学習環境を考える上で、民間の教育事業者はどのような役割を担い、行政はどうか対応すべきか。

教育長 大和町教育委員会としては、塾が文科省所管ではなく、経済省所管のサービス産業の一業種というところで、塾の指導に對し関与するとか、塾の存在を考慮しての教育行政は特に進めてはいない。

議員 町内における塾の実情は。また、子どもたちの通塾率はどの様になっているのか。

教育長 平成21年度の町内の状況は、中学3年生で家庭教師や塾で学習している生徒は223人中100人、

45%となっている。全国平均は63%、宮城県平均は56%である。町内の塾の実態は把握していない。

議員 文科省は09年1月、小・中学校への携帯電話の持ち込みを「原則禁止」という方針を出したが、町内小・中学校の状況は。

教育長 町内小・中学校における学校への携帯電話の持ち込みは、分校を含めて小・中学校9校中、7校が原則禁止である。児童生徒の携帯電話所有実態は、中学校2校と小学校3校で把握している。携帯電話を原因とするトラブルは、一件確認している。



増えつつある学習塾

地域格差のないまちづくりを 町長 新しい住民の定住化で

議員 トヨタ自動車関連企業を始め、東京エレクトロニック、各種企業が本町に立地し、将来に明るい展望が開けて来ている。

同じ町でも発展する地区と衰退していく地区がある。今後の宮床、吉田、鶴巣、落合地区の将来をどのように考えているのか。

町長 これまでの地域区分を見直し、それぞれの地域の役割、地域別の土地利用の方向性を示している。全ての地域、全ての人をまちづくりの基本として実現に向けて努力していく。

い、バランスの取れたまちづくりをどのように進めるのか。

町長 本町でも少子高齢化が進み、それぞれの地域では地域コミュニティ形成が難しくなり、大きな課題であると認識している。

そのため、定住促進が必要であり、働く場を確立することが第一の手段と考えている。

従来から住んでいた住民の町外への流出を食い止めるのかも大きな課題である。

消防団と自衛隊との合同訓練を

町長 参加できるように検討する



災害時にはたよりにしています

議員

消防団は火災、地震、大雨、洪水など有事の際には昼夜を問わず出動するが、近年の災害は以前と違って予想がつかない現状である。降水量に関しても、集中豪雨の発生により下流よりも上流での被害が多発するな

ど、異常気象が及ぼす影響が大きくなってきている。

この様な大災害が発生した場合、消防団だけでは被害の拡大を防ぎきれない。有事の際は、自衛隊と一体となつて、地域を守らなければならないと考える。消防

団と自衛隊との合同訓練を計画しては。

町長 合同訓練は、防災関係機関と連携を図るため、図上訓練を計画し、自衛隊が参加できるように検討していく。



議員 志高 高 渡 平



なじよなつたの？ あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

いまだに進まず

旧伊達家住宅 かやぶき屋根の修繕

①伊藤 勝 議員 (H21.3月議会)
旧伊達家住宅は風雪などにより壊れ始めているが、修理する考えは。

町長
痛んでいる部分や萱が抜けている部分の補修を行う。

②秋山 富雄 議員 (H22.6月議会)
風雨により屋根の棟が壊れ、雨漏りがしている。早急に改修工事をすべきと思うが。

町長
西側上部の萱の脱落や、屋根北側の劣化が進んでいるので、今後、簡易の補修で対応する。

実現しました

投票時間の繰上げを

H21.9 → H22.7

質問
期日前投票が浸透している。人件費削減のために投票時間の繰上げをしては。

答弁
期日前投票の分析や投票時間のアンケートを行い、慎重に検討する。

処理
アンケートの結果に基づき、「午後8時まで」の投票時間を1時間繰上げ、午後7時までとしました。
【投票時間：午前7時～午後7時まで】



町の宝 伊達家住宅



いつも投票しています

全国から注目 大和町議会だより

大分県豊後大野市議会



5月11日は大分県豊後大野市議会から議員6名、職員2名の方が、本町の議会だより作成方法などを学ぶため視察にられました。豊後大野市は平成17年3月に5町2村が合併した人口4万1千人の市です。平成24年には新庁舎を建設する予定で、本町の庁舎内を視察し「大変参考となりました」とのことでした。

愛知県阿久比町議会



5月13日には愛知県阿久比町議会から議員5名、職員1名が視察にられ、議会だよりの完成までのスケジュールや作成方法などを学ばれました。お互い意見交換をしながら交流を深めました。

【阿久比町の議員から御礼の言葉をいただきました】

新庁舎への移転をしたばかりにも関わらず、暖かくお受けいただきありがとうございました。議員個人の活動や議会としての活動はどのまちでも色々と大変だと思います。そうした中で、ほかのまちの議員の皆さんと意見交換ができることはとても勉強になり、自信にもつながってまいります。多くのことを学ばせていただき、本当にありがとうございました。

新議場紹介



耳の不自由な方も大丈夫



傍聴席48席（車イス2席分）

議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはいりません。1人でも団体でも傍聴できます。また、一階町民ホールのテレビでも見ることができます。

○次回定例会は

9月6日(月)～17日(金)までの予定です。

○開会時間は「午前の部は10時から」、

「午後の部は1時から」となります。

○場所は、役場3階です。

・傍聴受け付け（3階ロビー）を終えてから、議場にお入りください。開会時間の15分前までに手続きを終えてください。

大和中学校 三年
佐藤 寧々さん



大好き!!

大和町

宮床中学校 三年
松本 広信くん



町への思いや将来の夢を書いていただきました。
ご紹介します☆

県大会に向けて

私は卓球を七年間やっています。毎日毎日夜九時頃まで練習で、もう卓球をやめたいなと思う日もありました。でも中学校に入り、部活動もやるようになり、部活の仲間に元気をもらい乗り越えてきました。
今回の郡中総体では個人戦の決勝で一年生の妹に負け残念な結果になってしまいました。

県大会では気持ちを切り替えて団体、個人ともに上位入賞し、東北大会出場を目指したいと思います。
大和町は緑豊かで自然がいっぱいで大好きです。私の将来の夢はトリマーになることですが、もう一つ、大和中の生徒に卓球を教えたいという夢もあるので、これからも卓球をがんばっていきたいと思います。

豊かな自然を未来へ

僕は大和町に三年ほど前から住んでいます。この町に来て一番初めに感じたことは、この町の自然の豊かさです。
初めて広い森や山に出会った当時の僕には、大和町の風景がとても壮大に見えました。森林や水田、そして堂々とそびえ立つ七ツ森の山々。これは僕たちが守っていかねばならない財産の一つではないでしょうか。
日本の多くの市町村で都市化が進められている今、大和町のように美しい自然を持つ地域が貴重なものとなってくるでしょう。
僕はこの町が将来、今よりも発展した町になっても、豊かな緑が残っていて欲しいと思います。町の活性化と自然の保護。この二つを僕たち大和町民が協力して実行し、大和町がさらに発展していくことを願っています。

小野小学校3年生 新庁舎見学

1組



2組



5月に新庁舎が開庁してから、多くの方が来られました。6月29日には小野小学校の3年生が校外活動で訪れ、楽しく見学をしました。

編集後記

新庁舎で初議会

新庁舎が完成し、5月27日に落成式が行われた。6月定例議会は17日〜22日まで開催され、16名の議員が一般質問を行った。3日間の一般質問となり1日目6名、2日目6名、3日目4名、新庁舎での初めての議会とあって、傍聴者席が満席となりました。大和町も55周年で節目の年でもあり、今後も様々な行事が計画されています。今後とも町民の皆様のご参加をお願いいたします。

広報委員 秋山富雄

議会広報調査特別委員会

- 編集発行責任者
議長 大須賀 啓
編集委員
委員長 堀籠 英雄
副委員長 平渡 高志
委員 堀籠日出子
委員 秋山 富雄
委員 伊藤 勝
委員 藤巻 博史